

平成24年度第5回東京都がん診療連携協議会の概要

平成24年5月29日に、都立駒込病院において、「第5回東京都がん診療連携協議会」（平成20年6月設置）が開催された。協議会に設けられた4つの部会の活動状況報告が行われるとともに、24のがん診療連携拠点病院、10の東京都認定がん診療病院及び15の東京都がん診療連携協力病院の各委員及び東京都医師会の先生の間で、活発な議論が行われた。

部会名	報告内容
がん登録部会	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年及び2009年の拠点病院及び認定病院のデータを集計・分析し、全国集計との比較を行った。 ・登録制度の向上を図るため、がん登録部会実務者連絡会を設置し、実務者を対象に「婦人科疾患の病期分類」をテーマに研修会を行った。 ・今年度以降は、データの活用策や実務担当者への研修に力を入れていく。 ・また、予後情報付き全国集計が始まろうとしているが、個人情報保護と関連して、市区町村への住民票照会等について課題もあり、がん登録の法制化の動きを注視しながら、協議会としても課題解決に向けた働きかけをしていく。
研修部会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度がん医療従事者研修 594人参加 <ul style="list-style-type: none"> 6月25日 薬剤師73人 薬薬連携 8月6日 放射線治療技師153人 放射線治療における精度管理 10月15日 医師・薬剤師・看護師55人 がんの薬物療法 11月19日 看護師133人 家族看護 11月26日 医師55人 最新の放射線治療：Best of ASTRO/ESTRO 12月3日 放射線治療技師125人 IMRT 治療計画（前立腺・頭頸部） ・緩和ケア研修 <ul style="list-style-type: none"> 23年度実績53回・991名修了、20年からの累積は3,170名修了
クリティカルパス部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域連携クリティカルパスの診療報酬算定に係る運用改善についての嘆願書」を作成し、平成23年7月6日に、佐々木前会長、鶴田前部長が厚生労働省へ提出した。こうした働きかけもあり、今年4月より、退院した日から起算して30日以内に1回に限り所定点数を算定できるようになるなど、一定の改善が図られた。 ・各がん種間で様式の統一を図るなど、東京都医療連携手帳の改訂を行った。また、合わせて運用手順書も作成した。 ・今年度は、診療報酬Q&Aを作成するなど、一層の連携促進を図っていく。
相談・情報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者連絡会を3回実施し、各病院の相談員間の連携を図った。 ・第1回では、がんサポートコミュニティの大井賢一先生に「患者会・支援団体との連携を考えるにあたって」をテーマにご講演いただき、相談員の共通の課題である「患者会とのかかわり」について、理解を深めた。 ・第2回では、「患者サロン」について、いくつかの病院からの取組状況報告及びグループによる課題討議により、サロンについての認識を深めた。 ・今後は更に相談支援センターの諸課題への対応策や患者会等との連携等について検討し、患者への情報提供のフォローアップに繋げていく。

